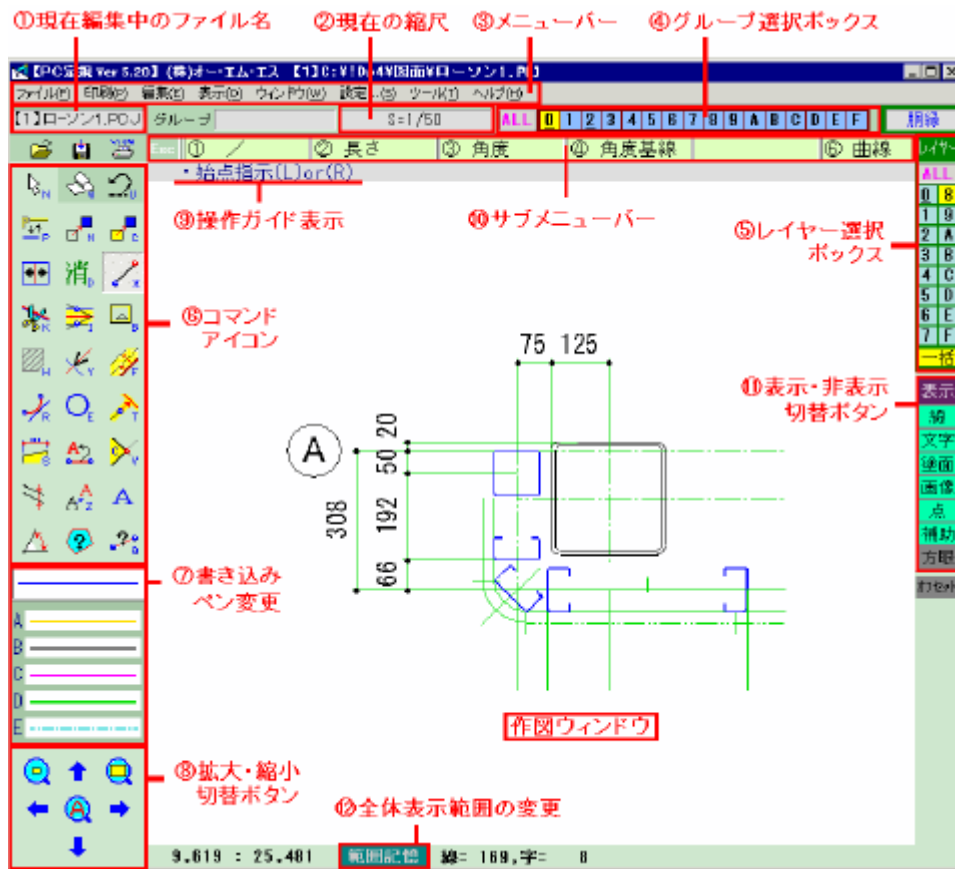



5.画面各部の名称とコマンドの種類

(1)画面各部の名称



(画面の設定 (解像度) により上の画面とは表示が異なる場合があります。解像度1024×768以上推奨)

現在編集中的のファイル名

現在編集している図面のファイル名が表示されます。頭の【1】は1図面側であることを意味しています。(PC定規ではコマンドアイコン [ .ウィンドウ切替] をクリックすることによって、2つの図面を同時編集することが出来ます)

現在の縮尺

現在編集している図面の縮尺が表示されます。メニューバーの『設定(S)』で設定出来ます。

メニューバー

印刷や設定などPC定規の持っている機能を分類別にまとめてあります。文字をクリックするとコマンドが一覧表示されます。

グループ選択ボックス

現在の書き込みグループが黄色枠で表示されます。
メニューバーの『設定(S)』で各グループの縮尺、名称が設定出来ます。右クリックで書き込みグループの変更も可能です。

レイヤー選択ボックス

現在の書き込みレイヤーが黄色枠で表示されます。
メニューバーの『設定(S)』で各グループのレイヤー名称が設定出来ます。右クリックで書き込みレイヤーの変更も可能です。

コマンドアイコン

図面を作成するための基本的なコマンドが表示されています。

メニューバーの『設定(S)』で、コマンドを文字表記に替えることも可能です。

書き込みペン変更

現在使用している書き込みペンが表示されます。

この欄をクリックすることによって書き込みペンを変更することが出来ます。よく使うペンを5種類(A、B、C、D、E)登録する事も可能です。(P62参照)

拡大 縮小切替ボタン

クリックすることによって表示画面を拡大・縮小、上下左右に切り替えることが出来ます。

PC定規ではこれらの動作がマウス操作で行えます。

操作ガイド表示

選択コマンドの指示メッセージが表示されます。

サブメニューバー

選択コマンドの操作に関するメニューが表示されます。(選択コマンドによって表示される数が違います)サブメニューの頭にある「 」などの数字はテンキーの数字に対応しています。




表示 非表示切替ボタン

クリックすることによって表示画面上の点や線などを表示・非表示に切り替えることが出来ます。グリッド(方眼)表示もここで行えます。







全体表示範囲の変更

全体表示範囲を一時変更させることが出来ます。(P107参照)











(2)補助コマンド

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|---------|---------------------------|
|  | ニュートラル | コマンドの選択を解除 |
|  | ウィンドウ切替 | 同時編集できる2図面の表示切り替え |
|  | やり直し | いわゆる1回アンドゥ(再度クリックすると元に戻る) |







(3)基本コマンド

- | | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------|
|  | 直線作成 | 長さ、または相対位置指定で作成可能 |
|  | 矩形作成 | 正方形・長方形・三角形を作成、四角面の塗り潰し、画像貼り付けも可能 |
|  | 複線作成 | 平行線、同心円・同心円弧の作成 |
|  | 消去 | 個々の線・文字の消去、および範囲を指定した一括消去 |
|  | 線の伸縮 | 線の伸縮やパラメトリック変形 |
|  | 線結合、面取 | (辺)(C)(R)での面取り、コーナーの肉盛り塗り潰しも可能 |



(4)作図コマンド

	円作成	1 周期分の正弦波の作成も可能
	円弧作成	円接線の作成も可能
	中心線作成	2 線または 2 点間の中心線を作成
	文字入力	文字の変更も可能
	網掛け	多角形エリアのハッチング、塗り潰し
	寸法線作成	寸法線の作成、円径寸法も可能(方向は任意)
	斜め寸法線	引き出し寸法線の作成(引き出し方向は15°ピッチ)
	角度寸法線	角度値を寸法作図
	矢印の付加	線分の端点・交点に矢印を付加
	線長を文字にセット	線分の長さ寸法値を既存文字にセット (パラメトリック変形後の寸法値修正用に使用すると便利)

(5)編集コマンド






	線の切断	直線、円・円弧の切断
	文字移動	文字を移動、表内での文字寄せも可能
	属性変更	ペン・文字サイズ、グループ及びレイヤーの変更、画像の変更
	ブロック複写	ブロック(拡大、平行、回転、反転、切り出し)複写
	ブロック移動	ブロック(拡大、平行、回転、反転)移動
	表枠の移動	表枠の移動、表枠の縦横巾の変更 Free

(6)測定コマンド

	測定(長さ)	2 点間の測定(距離、水平距離、垂直距離、角度) (シフトキーを押しながら操作すると矩形範囲の数値文字の合計が計算可能)
	測定(面積)	多角形の面積測定、始点からの図心値も表示

PC定規 5ではコマンドアイコンを文字表記にかえることも可能です。

(『3 . 設定項目』「その他」の項(P55)参照)

.寸法線作成)、.斜め寸法線)、.線長を文字にセット)、.測定(長さ)、.測定(面積))の5つのコマンドでは、指示した箇所のグループの縮尺を自動認識して、長さや面積を表示します。

例：現在表示されている縮尺(書き込みグループの縮尺)が1/100であっても、測定する図面が1/50のグループにかかれたものであれば測定数値は1/50で表示される。

(7)書き込みペンの変更

現在の書き込みペンを表示している「書き込みペン変更」欄(図1)をクリックすると、コマンドボックスがペン番号と線種のメニューに切り替わります。(図2)

(マウスポインタをメニューから外すと元の画面に戻ります)

図 1



図 2



表示された「Pen. 1 ~ 6」の任意のペン番号(色)をクリックして、書き込みペンを変更します。

ペン番号を選択すると線種は実線に切り替わるので、同時に線種も変更する場合には、「ペン番号」「線種」の順で選択して下さい。

(各ペン番号の色・印刷時の太さなどはメニューバー『設定..(S)』から変更して下さい。(P51参照))

ペン選択状況はペンのレイヤーごとに記憶することも出来ます。

(『3. 設定項目』『その他』の項(P55)参照)

図 3



また、「書き込みペン変更」欄の下部によく使うペンを5種まで登録できます。登録する事によって、毎回ペン番号と線種のメニューを表示させてペン変更しなくても、1回のクリックで書き込みペンを変更することが出来ます。

登録方法は、

(1) 登録させたいペンを「書き込みペン変更」欄に表示させる。

(2) 「書き込みペン変更」欄にマウスポインタを置き、右クリックする。(図3)

(3) 登録させたい場所(A、B、C、D、E)を選ぶ。
の以上です。

(8)グループとレイヤー

図面の各要素は異なる縮尺を設定できる最高16のグループ(割付図・基礎構造図など)と、各グループを更に最高16のレイヤー(製品・寸法線・文字など)に仕分けすることができます。

作図グループと変更

作図したグループは、画面右上の「グループ選択ボックス」中[0~F]の黄色枠の値となります。(以降、これを書き込みグループといいます)書き込みグループは[0~F]を右クリックすると変更できます。
(書き込みのあるグループには数字の下にラインが付きます)

作図レイヤーと変更

作図したレイヤーは、画面右の「レイヤー選択ボックス」中[0~F]の黄色枠の値となります。(以降、これを書き込みレイヤーといいます)書き込みレイヤーは[0~F]を右クリックすると変更できます。
(書き込みのあるレイヤーには数字の下にラインが付きます)

表示グループの変更

作図ウィンドウには「グループ選択ボックス」中[0~F]が黄枠(書き込みグループ)または青枠のグループで表示されます。表示グループは[0~F]を右クリックすることで変更でき、左クリックすることで書き込みグループ以外を非表示にできます。
(非表示は枠が茶色に塗りつぶされた状態になり、再び左クリックすれば元に戻ります)

表示レイヤーの変更

作図ウィンドウには「レイヤー選択ボックス」中[0~F]が黄枠(書き込みレイヤー)または青枠のレイヤーで表示されます。表示レイヤーは[0~F]を右クリックすることで変更でき、左クリックすることで書き込みレイヤー以外を非表示にできます。
(非表示は枠が深緑色に塗りつぶされた状態になり、再び左クリックすれば元に戻ります)

表示グループ(レイヤー)の表示/非表示一括切替

「グループ/レイヤー選択ボックス」の[ALL]をクリックすると書き込みグループ(レイヤー)以外の表示/非表示を一括で切り替えることができます。

表示レイヤーの一括切替

「レイヤー選択ボックス」の[ALL]をクリックし、書き込みレイヤー以外を非表示にした後「レイヤー選択ボックス」下の[一括]をクリックし、黄色表示にすると異なる書き込みグループのレイヤーも同時に表示を切り替えることができます。
(元に戻すには「ALL」「一括」をクリック)

書込/表示グループ(レイヤー)の逐次切替

書き込みグループ(レイヤー)以外が全て非表示の状態タイトルグループ又はレイヤーを左クリックまたは右クリックすると書き込みグループ(レイヤー)が逐次切り替わります。作図ウィンドウで各グループ(レイヤー)の作図データを確認するのに便利です。